

薬剤部

Hospital Pharmacy

教授	加藤 敦	Atsushi Kato
副部長	小野 敦央	Atsuo Ono
副部長	高木 昭佳	Akiyoshi Takaki
助教	新澤 健太	Kenta Shinzawa
薬剤主任	格谷美奈子	Minako Kakutani
主任薬剤師	藤田 智弥	Satomi Fujita
薬剤師	直井 一久	Kazuhisa Naoi
薬剤師	近岡 伸悟	Shingo Chikaoka
薬剤師	高橋 則正	Norimasa Takahashi
薬剤師	近藤 崇泰	Takayasu Kondo
薬剤師	龍 伸和	Nobukazu Ryu
薬剤師	屋木 祐太	Yuuta Yagi
薬剤師	石川 雄大	Yuudai Ishikawa
薬剤師	植竹 龍一	Ryuichi Uetake
薬剤師	船本 千晶	Chiaki Funamoto
薬剤師	谷道あかり	Akari Tanimichi
薬剤師	森 わかな	Wakana Mori
薬剤師	田嶋 大輝	Hiroki Tajima

◆ 原 著

- 1) Bordes A, Poveda A, Fontelle N, Ardá A, Guillard J, Ruan B, Marrot J, Imaeda S, Kato A, Désiré J, Xie J, Jiménez-Barbero J, Blériot Y. Synthesis and chelation study of a fluoroionophore and a glycopeptide based on an aza crown iminosugar structure. *Carbohydr. Res.* 2021 Feb 10; 501: 108258. doi: 10.1016/j.carres.2021.108258.
- 2) Shinzawa K, Kageta D, Nash R J, Fleet G W J, Imahori T, Kato A. Azobenzene derivatives show anti-cancer activity against pancreatic cancer cells only under nutrient starvation conditions via G0/G1 cell cycle arrest. *Tetrahedron.* 2021 Apr 9; 85: 132077. doi: 10.1016/j.tet.2021.132077.
- 3) Byatt B, Kato A, Pyne S. Synthesis and structural revision of glyphaeaside C. *Org. Lett.* 2021 Apr 30; 23(10): 4029-4033. doi: 10.1021/acs.orglett.1c01248.
- 4) Li Y-X, Wang J-Z, Kato A, Shimadate Y, Kise M, Jia Y-M, Fleet G W J, Yu C-Y. Stereocomplementary synthesis of casuarine and its 6-epi-, 7-epi-, and 6,7-diepi-stereoisomers. *Org. Biomol. Chem.* 2021 Jul 2; 19(43): 9410-9420. doi: 10.1039/D1OB01725J.
- 5) Zhu S, Jagadeesh Y, Tran A T, Imaeda S, Boraston A, Alonzi D S, Poveda A, Zhang Y, Désiré J, Charollais-Thoenig J, Demotz S, Kato A, Butters T D, Jiménez-Barbero J, Sollogoub M, Blériot Y. Iminosugar-C-glycosides work as pharmacological chaperones of NAGLU, a glycosidase involved in MPS IIIB rare disease. *Chem. Eur. J.* 2021 Nov 10; 27(44): 11291-11297. doi: 10.1002/chem.202101408.
- 6) Lu T-T, Shimadate Y, Cheng B, Kanekiyo U, Kato A, Wang J-Z, Li Y-X, Jia Y-M, Fleet G W J, Yu C-Y. Synthesis and glycosidase inhibition of 5-C-alkyl-DNJ and 5-C-alkyl-L-ido-DNJ derivatives. *Eur. J. Med. Chem.* 2021 Nov 15; 224: 113716. doi: 10.1016/j.ejmech.2021.113716.
- 7) 石川雄大, 高木昭佳, 梶浦新也, 真鍋優希子, 高橋則正, 小野敦央, 加藤 敦. 抗がん薬に伴う末梢神経障害に対するミロガバリンの有効性評価. *医療薬学誌.* 2021 Jan 1; 47(1): 1-9.
- 8) 梶浦新也, 村上 望, 高木昭佳, 近岡伸悟, 深井咲衣, 古市厚志, 竹村佳紀, 林 龍二. フェンタニル速放性製剤の開始理由と開始時期. *ペインクリニック.* 2021 Jul 1; 42(7): 1-5.

◆ 学会報告

- 1) 加藤 敦, 今枝秀貴, 畑 瑞希, 中込 泉, 広野修一, 田中信忠. ポンペ病の原因酵素であるGAAの変異部位

がDNJのシャペロン効果に及ぼす影響について。日本薬学会第140年会；2021 Mar 26-28；広島（オンライン）。

- 2) 島立優奈*, 吉村洗亮, 加藤 敦. コウゾに含まれるbroussonetine類のグリコシダーゼ阻害活性と誘導体化の試み. 日本薬学会第140年会；2021 Mar 26-28；広島（オンライン）。
- 3) 中込 泉, 加藤 敦, 廣瀬花穂, 島立優奈, 畑 瑞希, 山乙教之, 田中信忠, 広野修一. ゴーシェ病治療薬の開発を目指した β -glucocerebrosidaseに対する新規allosteric activatorの探索. 日本薬学会第140年会；2021 Mar 26-28；広島（オンライン）。
- 4) 綿貫智也**, Win NwetNwet, 森田洋行, 加藤 敦. セラミダーゼ阻害活性を有するスダチ(Citrus sudachi)由来のフラボノイド成分の探索. 第38回 和漢医薬学会学術大会；2021 Sep 4-5；金沢（オンライン）。
- 5) 宮崎優佳*, 水出夏央, 綿貫智也, 加藤 敦. スダチチン類のチロシナーゼに対する構造活性相関と美白化粧品への応用研究. 第38回 和漢医薬学会学術大会；2021 Sep 4-5；金沢（オンライン）。
- 6) 龍 伸和, 石川雄大, 加藤 敦. 膀胱癌化学療法を効果的に継続するための試み～血小板減少症に対する加味帰脾湯の有効症例～. 第38回 和漢医薬学会学術大会；2021 Sep 4-5；金沢（オンライン）。
- 7) 小林陽太, 池田隼人, 岡田卓哉, 喜瀬真妃, 加藤 敦, 豊岡尚樹. 強力なグルコシダーゼ阻害活性が期待される新規ピロリジン誘導体の合成研究. 2021年度有機合成化学北陸セミナー；2021 Sep 29；富山（オンライン）。
- 8) 石川雄大, 谷道あかり, 高橋則正, 格谷美奈子, 加藤 敦. 薬剤師の介入によりdose-dense AC療法を安全に完遂できた乳癌の一症例. 第31回 日本医療薬学会年会；2021 Oct 9-10；熊本（オンライン）。
- 9) 谷道あかり, 石川雄大, 高橋則正, 格谷美奈子, 加藤 敦. 当院におけるペグフィルグラスチムの使用実態調査. 第31回 日本医療薬学会年会；2021 Oct 9-10；熊本（オンライン）。
- 10) 直井一久, 近藤崇泰, 植竹龍一, 加藤 敦. 手術室における全身麻酔セット内容の適正化による効果. 第31回 日本医療薬学会年会；2021 Oct 9-10；熊本（オンライン）。
- 11) 城宝秀司, 石川雄大, 梶浦新也, 林 龍二, 絹川弘一郎. 富山大学附属病院におけるペムプロリズマブ使用後の心筋障害の検討. 第4回 日本腫瘍循環器学会学術集会；2021 Oct 12-14；仙台（オンライン）。
- 12) 石川雄大. 前立腺がんにおけるチーム医療 ～薬剤師の立場から～. 第59回 日本癌治療学会総会；2021 Oct 21-23；横浜（オンライン）。
- 13) 加藤 敦, 中込 泉, 畑 瑞希, 吉村洗亮, 名取良浩, 吉村祐一, 広野修一. イミノ糖を基盤とした酸性 α -グルコシダーゼに対する選択的阻害剤のデザイン研究. 第40回 日本糖質学会年会；2021 Oct 27-29；鹿児島。
- 14) 藤田智弥. アスリートを支えるスポーツファーマシストの活動 ～女子バレーボールチームの医療サポートチームに介入して～. 第54回 北陸信越薬剤師学術大会；2021 Nov 6-7；長野（オンライン）。
- 15) 植竹龍一, 直井一久, 近藤崇泰, 高木昭佳, 加藤 敦. レミフェンタニル静注用の規格変更による薬剤購入費および廃棄量削減効果の検証. 第31回 日本病院薬剤師会北陸ブロック学術大会；2021 Nov 7；福井（オンライン）。
- 16) 船本千晶, 高橋則正, 石川雄大, 高木昭佳, 加藤 敦. シスタチンCを用いたeGFRよりカルボプラチンの投与量を算出した一症例. 第31回 日本病院薬剤師会北陸ブロック学術大会；2021 Nov 7；福井（オンライン）。
- 17) 田嶋大輝, 高木昭佳, 石川雄大, 加藤 敦. がん悪液質治療薬アナモレリンの使用実態と中止理由の調査. 第31回 日本病院薬剤師会北陸ブロック学術大会；2021 Nov 7；福井（オンライン）。

◆ その他

- 1) 森わかな. 腎機能低下例に対する薬物療法症例検討 持参薬鑑別を通して減量に介入した一症例. 第3回 富山県病薬研修委員会研修会；2021 Jan 30；富山（オンライン）。
- 2) 加藤 敦. 構成生薬から見えてくる漢方薬の効き方と注意すべき副作用 ～漢方薬が好きになる明日から使える基礎知識～. 第11回 富山県漢方調剤フォーラム；2021 Feb 7；富山。（招待講演）
- 3) 高木昭佳. 乳癌化学療法における副作用マネジメント ～末梢神経障害～. 第30回 がん化学療法・緩和ケア研修会；2021 Feb 20；富山。